

学校図書館は、子どもたちの読書活動や主体的な学習を支えるために欠くことのできないものである。こうした認識に立ち、学校の教育課程の展開に寄与することを目的として、子どもたちの豊かな心をはぐくむ図書であるとともに、学習活動に役立つ内容であることを基準に選定を行う。

選定に当たっては、学校図書館経営顧問および学校司書の助言を受けつつ、図書主任を中心とした全教職員で選ぶことによって公平性を保ち、より広いジャンルの蔵書を選定できるものとする。全校体制で教育的価値の高い図書を選定することを期待するものである。

I 一般基準

1 内容

ア 知識をうるための図書

- 正しい知識や事実が述べられているか。
- 主題の取り扱い方は、新鮮で創意や工夫がみられるか。
- 一貫した論理で体系づけられ、論旨が明確であるか。
- 事実の叙述は、科学的に正確で、かつ具体的であるか。
- 取り扱っている範囲は、児童が学習するのに適切であるか。
- 資料は、その主題を解明するのに適切なものであるか。
- 引用文・さし絵・写真・図表などは、正確かつ適切で、必要に応じて原典が示されているか。
統計は、正確で、調査年度が示されているか。

イ 教養のための図書

- 児童の豊かな情操や確かなものの見方を育てるものであるか。
- 内容は題材に優れ、時代を越え感動を与えるものであるか。
- 快く楽しく読めるものであるか。
- 内容や主題に独創性があるか。
- 内容の取り扱いが、興味本位のものになっていないか。
- 人権尊重の精神が貫かれているか。

2 表現

- 表現は、児童の発達段階に即しているか。
- 当用漢字・現代仮名遣いを用いているか。
- 文章は、わかりやすく、文法にかなっているか。
- さし絵・写真・図表などは、本文を理解するのに役立っており、かつ、大きさが適切であるか。

3 構成

- 書名は、内容をよく表しているか。
- 目次・見出しの表現や位置は、内容に適応したものであるか。
- 必要な索引が完備しており、引きやすいか。
- 奥付には、必要な事項が記載されているか。

- 必要に応じて適切な参考文献が掲げられているか。
- 著者について必要な紹介がされているか。

4 造本・印刷

- 製本・外観・大きさが適切であり、体裁が整っているか。
- 装丁や表紙のデザインは好ましい印象を与えるか。
- 製本は堅ろうで、学校図書館の長期の使用に耐えうるものであるか。
- 乱丁・落丁、誤植はないか。
- ページ数は、扱っている内容にふさわしいか。
- 活字の字体や大きさは、児童の発達段階に即して適切であるか。
- 版の組み方は、行間・字詰めに余裕があり読みやすいか。
- 印刷は鮮明で見やすいか。
- さし絵・写真・地図などは鮮明で調和がとれ、大きさも適切であるか。
- 用紙は良質で丈夫であるか。

II 部門別基準

1 百科事典・専門事典

- 児童の興味・関心に応じた学習や調べ学習等に活用可能な編集内容となっているか。
- 見出しが使いやすく、児童にとって必要な写真・図版が適切に掲げられているか。

2 辞典

- 専門の権威者による編集がなされ、明確な編集方針を明示しているか。
- 見出し語の選定やその数は適切であるか。
- 解説・説明は正確で分かりやすく、客観的な内容となっているか。
- 参考となる資料が、必要かつ充分につけられているか。
- 必要に応じて、出典・用例・参照・索引などが適切につけられているか。

3 年鑑・統計・白書

- 編集が責任ある団体または専門家によってなされており、資料の収集・処理が公平で客観的であるか。
- 統計は正確で新しく、調査年度および原拠が示してあるか。
- グラフや図版が適切に使われ、必要な解説がつけられているか。
- 年鑑は、とくに項目の選定や解説が適切になされているか。

4 叢書・全集

- 編集方針が全体の構成に生かされているか。
- 各巻の内容は相互に均衡がとれているか。
- 各巻の標題と一致した個々の内容面の充実が図られているか。

5 翻訳書（日本古典の現代語訳についてもこの基準に準ずる）

- 完訳であるか。
- 原意を的確に伝えるとともに、読みやすい文章になっているか。
- 原典についての適切な説明がなされているか。

6 実用書・技術書

- 児童の生活にふさわしく有用なものであるか。
- 内容が新しく正確であり、技術的な要点を押さえてあるか。

7 動植物・岩石に関する図鑑

- 写真や図版は、実物の色彩や形態を正確に伝えているか。
- 写真や図版は、実物の特徴を正しく表現しているか。
- 写真や図版について適切な解説があるか。
- 主な産地や原産地が示してあるか。
- 生物については、発生の時期・花期・繁殖の時期・生息地が示されているか。
- 飼育動物・有用植物などの図鑑については、目的に応じた記載があるか。

8 地図帳

- 信頼のおける新しい原図をもとにしているか。
- 位置や地形の表示は正確であり、工夫がみられるか。
- 縮尺と、必要に応じて方位が、明示されているか。
- 色彩は鮮明で、統計地図など段階差が明確に出るように配色上の工夫をしているか。
- 新しい資料、分かりやすい解説、索引があるか。

9 絵本

- 絵は、内容を的確に表現しており、子どもの感覚に合って楽しいものになっているか。
- 文章は、子どもに理解できる内容や表現になっているか。
- 用紙・装丁・版型などは、内容にふさわしく作品を十分に生かしているか。

10 趣味・レクリエーション

- 児童の趣味・能力に合致しているか。
- 内容が正確であり、健全な活動を促進するものであるか。

11 伝説・民話

- 年代、採集地、採集者・語り手、出典等が記載されているか。
- 原典についての適切な説明がなされているか。

12 神話

- 古代における人々の考え方や生活が理解できるものであるか。
- 必要に応じて、原典や注釈が示されているか。

13 地域に関する図書

- 取り扱っている内容について、その原拠を示すなど正確な記述がされており、児童の調べ学習に役立つものであるか。

14 教師向けの教育図書

- 学習指導に関連する事項や学校行事の実施に参考となる情報を提供できるものであるか。

15 宗教に関する図書

- 児童の調べ学習等や教養に役立つものであるか。

16 政党に関する図書

- 児童の調べ学習等や教養に役立つものであるか。

17 性に関する図書

- 学習指導要領及び児童の発達段階に即しているか。

18 S・F

- 人類あるいは地球の未来について考えさせる内容のものであるか。
- 自由な発想にもとづき、児童の空想や想像の世界を広げるものであるか。

19 まんが

- 児童にとってふさわしい作品であるか。
- 学問上の真理や歴史上の事実が故意に歪められたり、無視されたりしていないか。
- 実在の人物については、公平な視野にたち、事実にもとづいて正確に扱われているか。
- 原著のあるものは、原作の意が損なわれていないか。
- 弱者や障害者が差別的に描かれていないか。
- 悪や不正、暴力や戦争が賛美されるような内容がないか。
- 俗悪な表現や言葉が使われていたり、人間の尊厳性が傷つけられていたりしていないか。

20 写真集

- 主題は、児童の興味・関心や調べ学習等に役立つものであるか。
- 編集や印刷が優れているとともに、必要に応じて解説などが適切につけられているか。

21 伝記

- 正確な事実や資料をもとに多面的な人物像を記述しているか。
- 業績や人格が、時代背景とのかかわりの中で描かれているか。
- 人物像を生き生きと魅力的に描き出しているか。

22 手記

- 児童にとって教育的な価値のあるものであるか。

Ⅲ (図書予算としては) 原則として対象としない図書

- ① 限定版、および豪華特装版であるもの。
- ② 教科書、副読本、問題集、教科書の解説書および自習書。
- ③ 特定政党や特定宗教の立場から宣伝および批判のためのもの。
- ④ 破損しやすいと考えられる図書。
- ⑤ 書きこみや切り抜きなど個人で使用することを目的とするもの。

* 「全国学校図書館協議会図書選定基準（昭和63年10月1日改訂）」を参考とした。